

RAMS 規格セミナーについて

鉄道認証室セミナーについては、今年度以降も国際規格に対して基本的な知見を持つ人材の発掘及び育成を通し、鉄道輸出の側面支援及び各鉄道会社、メーカーの若手技術者の知識向上の一助となるよう以下のように取り組むことを考えています。

1. 目的

機能安全について、どのようにリスクのコントロールをしているかの基本的な考え方を通し、ユーザー企業、メーカー双方の若手社員の皆様が今後発注仕様、設計仕様、リスクマネジメント方針などの業務を担当する際、システムティックな考え方で構築できるよう、国際規格を通し学んでいただける機会を提供します。また、各会社の技術者の交流を通し、意見交換ができるような機会を提供できるよう考えています。

2. セミナー項目

		内容	関係する規格
第1回	2025/4/	初回説明とシステムを構築する前に調べる事項	IEC 62278 Phase1
第2回	2025/5/	まず関係する状況を知ろう	IEC 62278 Phase2
第3回	2025/7	機能安全とは何か	IEC 62425
第4回	2025/9	確率で言える安全、仕組みで守る安全	IEC 62425/62279
第5回	2025/11	リスク解析	IEC 62278 Phase3
第6回	2026/1	安全の目標値と SIL の関係	IEC 62278 Annex A
第7回	2026/3	安全のかなめ、故障検知と停止	IEC 62425
第8回	2026/5	ソフトウェアと安全関連システム	IEC 62279
第9回		システム要求と機能割り当て	IEC 62278 Phase 4,5
第10回		トレーサビリティの重要性	IEC 62425/62279
第11回		汎用製品の場合、特定の製品の場合の考え方	IEC 62425
第12回		駅別データ等アプリケーションデータの重要性	IEC 62279
第13回		試験の網羅性の検討	IEC 62279
第14回		伝送における安全性と安全コード	IEC 62280
第15回		伝送線路のエラーと安全性の関係	IEC 62280
第16回		セキュリティ規格の動向	
第17回		Verification および Validation	IEC 62425/62279/62278

※ 灰色は開催済み。

期間は 2025/4 から 2028/3 を計画しています。

緑で着色した回は、交通安全環境研究所本所(東京都調布市)および WEB で実施します。その他の回は、WEB で実施します。(状況及び皆様の希望で変更することがあります。)

必要により、アンケートを実施することがあります。また今後のセミナーや鉄道認証の在り方、人材育成方策などの意見交換等を参加機関・企業の方と個別に行わせていただくことがあります。

3. 参加対象者

行政機関、鉄道事業者、鉄道関連業界の方のうち、鉄道行政、設計、開発、研究、保守、運用に携わって

いる初学者の方。その他機能安全に興味がある方。

4. 費用

無料です。(基本的に WEB にて開催します。)

5. 担当

独立行政法人自動車技術総合機構 交通安全環境研究所鉄道認証室
主席鉄道認証研究員 森 崇

6. お申込み

以下の連絡先に、所属・お名前・メールアドレス・ご住所をお送りください。

なお、頂いた情報は、独立行政法人自動車技術総合機構「保有する個人情報の適切な管理のための措置に関する規定」に基づき管理させていただきます。

連絡先：nrcc_info@ntsel.go.jp

交通安全環境研究所ホームページ(<https://www.ntsel.go.jp/>)にも掲示いたします。